



## 新年明けましておめでとうございます



現在日本が抱えている課題は山積みしており、東南海地震を見据えた防災対策やエネルギー問題、経済成長の鈍化、絆の希薄化など厳しい状況が広がっていると云えます。

こうした中で昨年2012年の漢字は「金」の一文字でありました。金環日食のほか、ロンドン五輪での日本人選手の活躍や、東京スカイツリーの開業、山中伸弥教授のノーベル賞授賞などで、「多くの金字塔が打ち立てられた」ことが理由に挙げられました。これは、新年は元気な日本を取り戻し、明るい1年にしていきたい表れであると思います。

そして我が豊川市に目を向けると市政施行70周年の記念の年であり、B-1グランプリ全国大会in豊川や新市民病院の開院など明るい事柄が展開していきます。

私もまず政治の信頼回復に努力し県議会議員として明るい社会・豊川市を目指し汗をかき活動させていただく決意であります。

本年が皆様にとって笑顔あふれる素敵な1年になることを御祈念申し上げ年頭のあいさつとさせていただきます。

## 藤原宏樹



新豊川市民病院 (9階建て)  
(東愛知新聞 2012年12月20日より)



2階外来受付ロビー



B-1グランプリ ポスター

### ボランティアを募集しています

B-1グランプリin豊川実行委員会では、本年11月9日(土)、10日(日)の2日間の運営をサポートしていただく方として、ボランティアリーダーの養成講座「観光まちづくりゼミナール」を開講しています。詳しくは実行委員会 (TEL0533-89-2262) までお問い合わせください。

### みなさまの声を ぜひお聞かせください

ご意見・ご要望ならびに県政に関する疑問・質問など、何でもお気軽にお寄せ下さい

### プロフィール

- 当選回数: 1回 (平成23年4月10日)
- 平成15年 25歳にて豊川市議会議員
- 生年月日: 昭和52年11月20日
- 最年少当選
- 豊川市御油町生まれ 35歳
- 平成23年 愛知県議会議員 初当選

### お問い合わせ

## 藤原ひろき事務所

〒441-0211 愛知県豊川市御油町古御堂5  
TEL (0533) 87-7926 FAX (0533) 87-7633 E-mail: toyokawa\_hiroki@yahoo.co.jp  
県議会議員 藤原ひろきオフィシャルウェブサイト <http://fujiwarahiroki.com/>



質問要旨

1 航空宇宙産業の振興について

- ・「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」の推進をどのようには図っていくのか？
- ・中堅・中小企業に対してどのような支援を取り組んでいくのか？

2 介護サービスの質の向上について

- ・公表制度における信頼性確保のため、どのような取り組みがあるのか？
- ・「よい介護」への認識共有の場として関係団体と連携し実現化の検討をすべきではないか？



県からの回答

- ・海外メーカーの生産拠点ではなく完成機メーカーを頂点とした、研究開発から設計・製造、保守管理まで、中小・中堅企業を含めた一貫体制の構築を目指しています。  
 ・技術者については国の支援を受けた人材育成プログラムが名古屋大学にて実施中であり、高度な加工技術は愛知産業技術総合センターにて三次元設計・5軸加工の研修が行われている。

- ・信頼性については指定機関による検査・調査により、受診済証「快適マーク」を12月から全国で初めて発行します。  
 ・事業所における「よい介護」をテーマにした先進的取り組み事例の発表する場の実現を関係諸団体と連携し進めていきます。

豊川市から県に対する要望事項

No.	項 目
1	設楽ダム建設に伴う水源地域対策等の促進
2	東三河環状線（大崎工区・三蔵子工区）の整備促進
3	国道151号一宮バイパスの早期整備
4	国道247号小坂井バイパスの無料化
5	姫街道の道路改良事業促進と鉄道立体交差区間の早期事業促進
6	豊川市の新市基本計画に対する積極的支援（都市計画道路国府赤根線のトンネル整備等）
7	東三河ふるさと公園の整備促進
8	三河港（御津ふ頭、臨港道路東三河臨海線）の整備促進
9	新市民病院建設事業及び周辺の道路整備等に対する財政支援
10	地域の基幹病院の医師確保及び政策医療に対する支援
11	B-1グランプリ開催に向けて、食育や観光振興の観点から必要な食文化を守る取り組みの推進



今年一年間の予定

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
議 会			3月県議会			6月県議会			9月県議会			12月県議会
豊川市									B-1グランプリ ⇄			
												新豊川市民病院 ⇄

**編 集 後 記**  
 以前市議の時には地元地区・連区に関連する市政への要望や市政からの報告事項を中心にレポートとして地元の皆様にお知らせすれば大半の目的が達成されていると思いましたが、県政レポートとなると、豊川18万人市民の共通した最大関心事や要望、県政報告を中心にニュースを集める必要があります。

このことに編集・レポートの難しさを実感しました。今回の県政レポート第3号を発刊するに際し、10月には国道23号豊橋バイパス前芝IC～豊川為当ICの開通や、12月には三河湾オレンジロードの無料化などのニュースがありました。紙面の都合上割愛しましたことをお詫び申し上げます。 byまさやん